

〔報告〕

## 特定保健指導実践者のスキルアップ研修の効果評価

大西 美智恵<sup>1</sup>, 越田 美穂子<sup>1</sup>, 片山 陽子<sup>1</sup>, 納田 幸代<sup>2</sup>,  
合田 恵子<sup>2</sup>, 岸田 伸介<sup>2</sup>, 星川 洋一<sup>2</sup><sup>1</sup>香川大学医学部看護学科<sup>2</sup>香川県健康福祉部Evaluating the Effectiveness of a Skill Training Program  
for Specific Health Guidance PractitionersMichie Onishi<sup>1</sup>, Mihoko Koshida<sup>1</sup>, Youko Katayama<sup>1</sup>, Yukiyo Nouda<sup>2</sup>,  
Keiko Gouda<sup>2</sup>, Sinsuke Kishida<sup>2</sup>, Youiti Hoshikawa<sup>2</sup><sup>1</sup>*School of Nursing, Faculty of Medicine, Kagawa University*<sup>2</sup>*Health and Welfare Department Kagawa Prefectural Government*

## 要 旨

大学と行政が共同で行った、特定保健指導実践者のスキルアップ研修の効果を明らかにするために、参加者に対し研修前後にアンケート調査を実施して効果評価を行った。その結果、保健指導支援計画の立案、行動変容を促す保健指導技術の習得、地域・職域の情報交換ができるというすべての項目で研修前に比較して研修後の評価得点が有意に高くなっており、研修の効果を認めた。一方、それらの3項目を実施できる自信度のみ評価得点が高くなっていたが、関心度や意欲には変化がなかった。

研修参加の満足度は概ね良好であったが、実践者のレベルの差やシステムの不備等の現場の状況が課題として提示された。

キーワード：特定保健指導実践者、スキルアップ研修、効果評価

## Summary

This study, jointly conducted by university researchers and the local government, aimed to clarify the effectiveness of a skill training program for specific health guidance practitioners. A questionnaire was given to participants before and after the training session. It was found that confidence in the following 3 items increased as a result of the training program: preparation of health guidance support plans, acquirement of health guidance skills that promote behavioral changes, and exchange of information between the community and occupational fields.

However, interest in and motivation towards these three areas did not change. Although participants were generally satisfied with the training program, their responses suggest that differences in the skill level of the guidance practitioners, as well as problems related to the system, are concerns that should be addressed.

Keywords: Specific health guidance practitioners, Skill training program, Evaluation of the effect

---

連絡先：〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1 香川大学医学部看護学科 大西美智恵

Reprint requests to: Michie Onishi, School of Nursing, Faculty of Medicine, Kagawa University, 1750-1 Ikenobe, Miki-cho, Kita-gun, Kagawa 761-0793, Japan

## はじめに

平成20年4月より40歳から74歳までの被保険者や被扶養者に対して、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための特定健診・特定保健指導が実施されている。

国は、平成24年度時点の目標値として、健診の実施率を70%、保健指導の実施率を45%、メタボリックシンドロームの該当者・予備軍の減少率を10%と設定している<sup>1)</sup>。特定健診・特定保健指導は医療保険者の責務となった<sup>2)</sup>ため、K県においても同様の目標値を設定し、「健康長寿K県の実現」を目指して県民自らが健康づくりに取り組むことを基本に活動を展開している。

各保険者が掲げた目標値を達成するためには、保健指導に携わる実践者（医師・保健師・管理栄養士が中心になって行う）のスキルアップが急務である。そこで、大学と行政がプロジェクトチームを組織し、地域特性を踏まえた効果的・効率的な保健指導の実践ができる人材の育成、および、研修を契機とした地域・職域における連携の促進を図ることを目的に、県下の全ての保健所で特定保健指導実践者のスキルアップのための研修を実施したのでその効果評価について報告する。

## 目的

本研究の目的は、大学と行政が共同し行った、特定保健指導実践者のスキルアップ研修の効果を明らかにすることである。

## 用語の定義

本研究におけるスキルアップとは、メタボリックシンドロームの該当者および予備軍と診断された人たちが、健全な生活習慣を身につけることを支援するための、保健指導の技術や技能を向上させることをいう。

## 方法

スキルアップ研修の参加者を対象に、研修前後に調査を行いその結果を比較検討した。なお、大学と行政でプロジェクトチームを組織後、各保健所担当者と事前打ち合わせを3回実施し、研修内容と評価項目の妥当性および評価方法の適正化について検討を行った。

## 1. 研修内容

研修の主な内容は、①保健指導個別支援計画の立案と評価 ②行動変容を促すコーチング技術<sup>3)</sup> ③地域・職

表1 平成20年度保健指導実践者スキルアップ研修の目標とスケジュール

- 目標
1. 個人の特性を踏まえた効果的・効率的な保健指導支援計画を立案できる。
  2. 行動変容を促す保健指導技術を習得できる。
  3. 地域・職域における連携、調整のために情報交換ができる。

## スケジュール

回	日時	会場	内容
1	平成20年10月2日(木) 平成20年10月6日(月) 平成20年11月4日(火) 平成20年11月20日(木)	A市保健センター B保健福祉事務所 C総合事務所 D保健福祉事務所	・オリエンテーション ・保健指導支援計画の立案 講義：情報収集の方法と課題分析 演習：保健指導支援計画の立案 ・地域、職域連携
2	平成20年11月18日(火) 平成20年11月27日(木) 平成20年12月5日(金) 平成20年12月25日(木)	B保健福祉事務所 A市保健センター C総合事務所 D保健福祉事務所	・行動変容を促すコミュニケーション技術 講義・演習：コーチングと基本のロールプレイ ・地域、職域連携
3	平成20年12月12日(金) 平成21年1月22日(木) 平成21年1月23日(金) 平成21年1月29日(木)	B保健福祉事務所 A市保健センター C総合事務所 D保健福祉事務所	・行動変容を促すコミュニケーション技術 講義・演習を通してのロールプレイ ・保健指導における評価 ・地域、職域連携

表2 調査項目

1. 参加者属性6項目
①年齢 ②性別 ③受講資格 ④職種 ⑤現職種の 経験年数
⑥保健指導業務への従事状況
2. 参加者自身の研修内容の評価項目4件法・14項目
①保健指導支援計画の立案8項目 ②行動変容を促 す保健技術3項目
③地域・職域の情報交換3項目
3. 研修内容3項目ごとの関心・意欲・自信度・研修 全体の満足度10件法9項目
4. 研修企画内容の評価項目4件法・13項目
①実施場所1項目 ②プログラム内容10項目
③実施方法2項目研修に関する
5. 自由記載

表3 対象者の概要 n=78

年齢	平均年齢	39.1±11.3歳
受講資格	①医療保険者の保健師等	46名(59.0%)
	②医療保険者以外(委託事 業者)の保健師等	10名(12.8%)
	③産業保健分野の者	10名(12.8%)
	④厚生労働大臣が定める者	5名(6.4%)
	⑤その他	4名(5.1%)
職種	保健師	37名(47.4%)
	管理栄養士	26名(33.3%)
	看護師	10名(12.8%)
	その他	5名(6.4%)
現職経験年数	平均経験年数	11.5±10.2年
保健指導業務	従事している	42名(51.4%)
	従事する予定	36名(48.6%)

注1) 受講資格は欠損値があるため、計100%にはならない。

注2) 職種のその他は、栄養士、運動指導士であった。

域連携のための情報交換の3項目で、内容に応じ講義・演習(ロールプレイ)・グループワーク等を行った。研修は、K県下4箇所の保健所において、各々3回実施した。その際、地域・職域の異なる実践者を同じグループになるよう編成を行い連携の促進を図った。具体的な日時・会場・内容等は表1のとおりである。

## 2. 評価項目および評価方法

評価に使用する調査項目は表2および資料1のとおりであって、無記名自記式調査とした。この内、属性項目

は受講前のみ、研修企画内容・研修全体の満足度は受講後のみ調査し、他の項目はすべて同じ内容を初回研修受講前と3回目受講後に調査し、比較検討した。

分析方法は、Wilcoxon符号付順位検定を行った。有意水準は5%に設定し、解析はSPSS16.0 for Windowsを用いた。

## 倫理的配慮

調査は研修参加者に目的や方法を説明し、同意を得たうえで行った。無記名自記式で調査への協力は自由であって取りやめても不利益を受けないこと、報告書等の形で結果を公表すること等も説明した。なお、研究者の影響を排除するため、説明は実施場所である保健所の担当者が行い、調査票の回収は会場に設置した回収箱を利用し行った。

## 結果

### 1. 分析対象者の属性

分析は、研修参加者102名のうち、保健指導業務に従事する予定のない3名を除外したうえで、前後のデータのある参加者78名を分析対象者とした。分析対象者の平均年齢は39.1±11.3歳であった。職種は保健師が37名(47.4%)と最も多く、次いで管理栄養士26名(33.3%)、看護師10名(12.8%)、その他(栄養士・健康運動指導士)5名(6.4%)であった。現職種の平均経験年数は、11.5±10.2年であった。受講資格は、医療保険者の保健師等が、46名(59.0%)で最も多く、次いで産業保健分野10名(12.8%)、医療保険者以外(委託事業者)の保健師等10名(12.8%)であった。研修時点で保健指導業務に従事している者は、42名(51.4%)、従事予定の者は36名(48.6%)であった。分析対象者の概要を表3に示した。

### 2. 研修前後における評価結果(表4)

#### 1) 個人の特性をふまえた効果的・効率的な保健指導支援計画の立案

保健指導計画の立案に関する①情報収集の内容がわかる ②留意点ができる ③支援計画の目的・目標の明確さ大切さがわかる ④内容がわかる ⑤留意点ができる

⑥評価指標の作成ができる ⑦効果的・効率的な計画の立案ができる ⑧個人の特性をふまえた計画の作成ができる ⑨今までとは違う保健指導のやり方がわかるの全ての項目において、研修前に比較して研修後の評価得点が有意に高かった(p<0.01)。

#### 2) 行動変容を促す保健指導技術の習得(表4)

表4 評価指標に基づく研修前後の評価得点の比較

段階	研修目標	評価指標	研修前評価得点	研修後評価得点
結果	個人の特性を踏まえた効果的・効率的な保健指導支援計画を立案できる	情報収集の内容がわかる	2.5	3.1
		情報収集の留意点がわかる	2.4	3.1
		保健指導個別支援計画の立案には、目的・目標が明確になっていることが大切であることがわかる	2.9	3.5
		保健指導支援計画の内容がわかる	2.4	3.1
		保健指導支援計画立案の留意点がわかる	2.2	3.1
		評価指標が作成できる	2.0	2.8
		効果的・効率的な保健指導支援計画を立案できる	2.2	3.2
		個人の特性を踏まえた保健指導支援計画を作成できる	2.1	3.2
		今までとは違う保健指導のやり方がわかる	2.0	3.1
	行動変容を促す保健指導技術を習得できる	面接技術の基本スキルがわかる	2.2	3.2
		面接技術の基本ステップがわかる	2.1	3.2
		保健指導における面接の実際についてわかる	2.0	3.1
	地域・職域における連携、調整のための情報交換ができる	地域・職域における社会資源の情報交換ができる	2.0	2.8
地域・職域における社会資源の有効活用ができる		1.9	2.7	

\*\*p<0.01

表5 研修目標に関する関心度・意欲・自信度の研修前後の評価得点の比較

段階	研修目標		研修前評価得点	研修後評価得点
結果	個人の特性を踏まえた効果的・効率的な保健指導個別支援計画の立案に対する	関心度	7.3	7.6
		意欲	7.5	7.8
		自信度	3.9	5.7
	行動変容を促す保健指導を行うことに対する	関心度	7.5	7.9
		意欲	7.9	8.0
		自信度	3.8	5.7
	地域・職域における連携・調整のための情報交換に対する	関心度	7.0	7.4
		意欲	7.2	7.5
		自信度	3.9	5.6

\*\*p<0.01

得点範囲:0点(不満足)~10点(非常に満足)

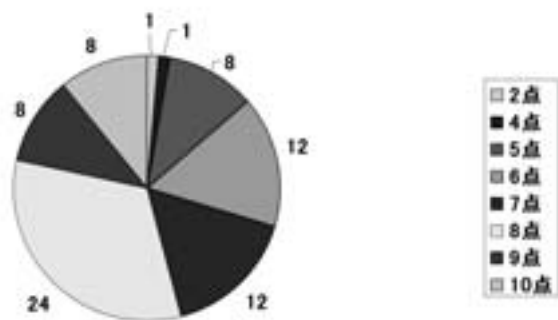


図1 研修参加後の満足度

面接技術の基本スキルがわかる、面接技術の基本ステップがわかる、保健指導における面接の実際がわかる、の3項目全てにおいて、研修前に比較して研修後の評価得点が有意に高かった (p<0.01)。

3) 地域・職域における連携、調整のための情報交換

(表4)

地域・職域における社会資源の情報交換ができる、社会資源の有効活用ができる、の2項目全てにおいて、研修前に比較して研修後の評価得点が有意に高かった (p<0.01)。

4) 研修内容3項目における関心度・意欲・自信度の前後の変化(表5)

個人特性をふまえた保健指導支援計画の立案、行動変容を促す保健指導の実施、地域・職域における連携・調整のための情報交換の3項目全てで、自信度の項目のみ

が研修前に比較して研修後の評価得点が有意に高かった ( $p < 0.01$ ).

### 3. 研修参加後の満足度 (図1)

研修参加後の満足度を10点満点で評価したところ、5点未満は2名(2.8%)であり、最も多かったのが8点の24名(32.4%)であった。概ね満足から満足とする8~10点は40名(54.0%)であった。

### 4. 自由記載

#### 1) 研修前における参加者の達成目標

研修前における参加者の達成目標に関しては、保健指導を理解し支援計画をきちんと立案できる、目標達成のための支援方法を学ぶ、評価について学び今後の評価結果を事業に活用できるようにする、効果的な行動変容の方法を学ぶ、個別的な指導方法を学ぶ等の目標が記述されていた。

#### 2) 研修後における目標達成に効果的だった内容

研修後において参加者が目標達成に効果的だった内容としてあげていたのは、ネットワークづくりができた、他の市町・他の施設との情報交換ができた、保健指導の考え方が理解できた、コーチングのスキルが理解できた、コミュニケーションスキルが学べた、ロールプレイで実施方法が学べた等であった。

#### 3) 目標達成のために困難であること

参加者が目的達成のために困難なこととしてあげていたのは、経験の少なさ、日々の業務が忙しく保健指導の時間が取れないこと、学んだスキルの継続的なフォローが受けられないこと、保健指導の対象者がいないこと、相談する相手がないこと、傾聴から問題点を展開することが難しい、研修で学んだことと現実とのギャップで悩む、自分のモチベーションの維持、企業と国との板ばさみ等が記述されていた。

#### 4) 研修についての意見

研修についての意見からは、もっと多くのツールを提示して欲しい、レベルが様々で参加者に差があった、グループは同じ職種同士がよかったのではないかと、開始時間は13時30分から良かった、研修を定期的に継続して欲しい、研修の間隔があくので(長期間にわたっているため)前回の内容を忘れる等研修運営に関する記述や、参加して多くのことが学べて良かった、様々な職種の人とグループになって情報が得られ良かった、情報交換できる場を提供してくれて良かった、またこのような機会を作って欲しい、様々な対象がいて対応するだけで大変、どんなときでも相手を承認するという事は困難等の感想が記述されていた。

## 考察

### 1) 保健指導支援計画の立案・評価及び行動変容を促す保健指導の技術習得

特定保健指導における対象者の個別支援計画の立案と評価及び行動変容を促す保健指導の技術を習得することは、メタボリックシンドロームの該当者・予備軍の減少率達成に大きく影響する<sup>4)</sup>。今回の研修では、受講前に比べ受講後の評価得点が高くなっており、研修の効果はあったと考える。自由記載からも研修の目標達成に効果的だった内容として、保健指導の考え方が理解できた、コーチングのスキルが理解できた、ロールプレイで実施方法が学べた等のことから内容の提供方法も適切であったと考える。一方で目標達成が困難なこととして、学んだスキルの継続的なフォローが受けられないこと、相談する相手がないこと、自分のモチベーションの維持等、学んだ技術を維持・向上させることの困難さが挙げられていた。

特定健診・特定保健指導事業は平成20年度に始まったばかりであり、事業の企画評価も試行錯誤しながら実施している保険者も多い。厚労省や県単位でも研修を企画してはいるが、回数等は充分でなく受講できる人数も限られる。研修後の継続した支援が今後の課題と考える。

### 2) 地域・職域連携とネットワーク形成

地域と職域の連携は、その必要性を認めながらもなかなか進まない状況にあったが、特定健診・特定保健指導事業の実施により、連携は不可欠となった。そこで今回の研修では、地域・職域連携<sup>5)</sup>を目的に、情報交換を中心としたグループワークを企画した。参加者の受講前後の評価得点の比較でも受講後が高くなっており、研修効果はあったと考える。自由記載からも、ネットワークづくりができた、他の市町・他の施設との情報交換ができた等の記述も多く、実際に活発な意見交換が行われていた。反面、保健指導に従事した経験がない、委託を受けているが対象者がいない、受診率が低く対象把握ができない、特定保健指導事業の運営方法が未定といった、従事者のレベルの差やシステムの不備などの現場の状況が課題として提示された。これらの課題に対し根本的な解決は困難であっても、保健所という行政機関が中立な立場でネットワーク形成の場を提供できた事は、意義のあることといえる。

## 結論

特定保健指導実践者のスキルアップ研修の結果、保健

指導支援計画の立案，行動変容を促す保健指導技術の習得，地域・職域の情報交換ができるというすべての項目および自信度で研修の効果を認めたが，関心度や意欲には変化がなかった。

研修参加の満足度は概ね良好であったが，実践者のレベルの差やシステムの不備等の現場の状況が課題として提示された。

## 文献

- 1) 厚生労働省，告示第150号 特定健康診査及び特定保健指導の円滑かつ有効な実施を図るための基本的な指針，平成21年3月31日，  
[http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshho/iryouseido01/pdf/info02\\_01.pdf](http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshho/iryouseido01/pdf/info02_01.pdf), 2009/9/1.
- 2) 厚生労働省，高齢者の医療の確保に関する法律，  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshho/iryouseido01/pdf/hoken83b.pdf>, 2009/9/1.
- 3) 柳澤厚生編：コーチングで保健指導が変わる，医学書院，2008.
- 4) 厚生労働省：標準的な健診・保健指導プログラム（確定版），2007.
- 5) 野村陽子：これからの地域保健と職域保健の連携のあり方，保健婦雑誌，58(2)，94-100，2002.

### 資料1

#### 「平成20年度保健指導実践者スキルアップ研修会」受講者の皆様へ(受講前)

◎ 本研修会は、地域特性を踏まえた効果的、効率的な保健指導の実施ができる人材の育成及び研修を契機とした地域・職域における連携の促進を目的としています。

1 次の項目について該当する番号に○を御記入ください。

年 齢：( 歳)

性 別： ①男性、 ②女性

受講資格： ①医療保険者の保健師、管理栄養士、看護師(一定の保健指導の実務経験のある者)  
②医療保険者ではない(委託事業者)保健師、管理栄養士  
③特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準第7条第1項第2号及び第8条第1項第2号の規定に基づき厚生労働大臣が定める食生活の改善指導又は運動指導に関する専門的知識及び技術を有すると認められる者  
④産業保健分野で保健指導に従事する保健師、管理栄養士、栄養士、看護師等  
⑤その他( )

職 種： ①医師、 ②保健師、 ③管理栄養士、 ④看護師、 ⑤その他( )

現職種の経験年数：( 年 月)

保健指導業務への従事：

- ① 従事している
- ② 従事する予定
- ③ 従事する予定はない

2 本研修受講によるあなたの達成目標を御記入ください。

( )

3 各評価指標について、現在の状態の該当箇所○をつけてください。

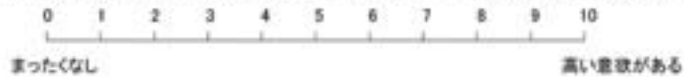
段階	評価指標	評 価				
		1	2	3	4	
結果	個人の特性を踏まえた効果的・効率的な保健指導支援計画を立案できる	情報収集の内容がわかる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		情報収集の留意点がわかる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		保健指導個別支援計画の立案には、目的・目標が明確になっていることが大切であることがわかる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		保健指導支援計画の内容がわかる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		保健指導支援計画立案の留意点がわかる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		評価指標が作成できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		効果的・効率的な保健指導支援計画を立案できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		個人の特性を踏まえた保健指導支援計画を作成できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		今までとは違う保健指導のやり方がわかる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	行動変容を促す保健指導技術を獲得できる	面接技術の基本スキルがわかる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		面接技術の基本ステップがわかる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		保健指導における面接の実際についてわかる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地域・職域における連携、調整のために情報交換ができる	地域・職域における社会資源の情報交換ができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域・職域における社会資源の有効活用ができる		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

## 4 保健指導支援計画の立案について

①個人特性を踏まえた効果的・効率的な保健指導個別支援計画の立案に対する関心度について該当箇所に○をつけてください。



②個人特性を踏まえた効果的・効率的な保健指導個別支援計画の立案に対する意欲について該当箇所に○をつけてください。



③個人特性を踏まえた効果的・効率的な保健指導個別支援計画を立案できる自信度について該当箇所に○をつけてください。



## 5 行動変容について

①行動変容を促す保健指導を行うことに対する関心度について該当箇所に○をつけてください。



②行動変容を促す保健指導を行うことに対する意欲について該当箇所に○をつけてください。



③行動変容を促す保健指導を行うことができる自信度について該当箇所に○をつけてください。



## 6 情報交換について

①地域・職種における連携・調整のための情報交換に対する関心度について該当箇所に○をつけてください。



②地域・職種における連携・調整のための情報交換に対する意欲について該当箇所に○をつけてください。



③地域・職種における連携・調整のための情報交換の自信度について該当箇所に○をつけてください。



ご協力ありがとうございました



## 「平成20年度保健指導実践者スキルアップ研修会」受講者の皆様へ(受講後)

参加状況: 参加した回に○をつけてください。 1回 2回 3回

1 各評価指標について、現在の状態の該当箇所○をつけてください。

段階	評価指標		評 価			
			1	2	3	4
			1   2   3   4		1   2   3   4	
			1   2   3   4		1   2   3   4	
企画	実施場所	参加者が参加しやすい場所か	1   2   3   4		1   2   3   4	
		プログラム内容	プログラムの内容は参加者の知識・技術を高めるものとして適切か	1   2   3   4		1   2   3   4
	効果的・効率的な保健指導に結びつけるために適切な頻度・期間か		1   2   3   4		1   2   3   4	
	多くの参加者が参加しやすい曜日・時間設定か		1   2   3   4		1   2   3   4	
	情報収集に関する知識・技術の提供がされているか		1   2   3   4		1   2   3   4	
	課題分析に関する知識・技術の提供がされているか		1   2   3   4		1   2   3   4	
	保健指導支援計画に関する知識・技術の提供がされているか		1   2   3   4		1   2   3   4	
	評価指標に関する知識の提供がされているか		1   2   3   4		1   2   3   4	
	行動変容のための保健行動技術の知識・技術の提供がされているか		1   2   3   4		1   2   3   4	
	実施		地域・職域における社会資源の情報交換の場が提供されているか	1   2   3   4		1   2   3   4
地域・職域における社会資源の有効活用のための交流がされているか			1   2   3   4		1   2   3   4	
実施		実施者の進め方は適切であったか	1   2   3   4		1   2   3   4	
		教材・機材は適切であったか	1   2   3   4		1   2   3   4	

段階	評価指標		評 価			
			1	2	3	4
			1   2   3   4		1   2   3   4	
			1   2   3   4		1   2   3   4	
結果	個人の特性を踏まえた効果的・効率的な保健指導支援計画を立案できる	情報収集の内容がわかる	1   2   3   4		1   2   3   4	
		情報収集の留意点がわかる	1   2   3   4		1   2   3   4	
		保健指導個別支援計画の立案には、目的・目標が明確になっていることが大切であることがわかる	1   2   3   4		1   2   3   4	
		保健指導支援計画の内容がわかる	1   2   3   4		1   2   3   4	
		保健指導支援計画立案の留意点がわかる	1   2   3   4		1   2   3   4	
		評価指標が作成できる	1   2   3   4		1   2   3   4	
		効果的・効率的な保健指導支援計画を立案できる	1   2   3   4		1   2   3   4	
		個人の特性を踏まえた保健指導支援計画を作成できる	1   2   3   4		1   2   3   4	
		今までは違う保健指導のやり方がわかる	1   2   3   4		1   2   3   4	
	行動変容を促す保健指導技術を習得できる	面接技術の基本スキルがわかる	1   2   3   4		1   2   3   4	
		面接技術の基本ステップがわかる	1   2   3   4		1   2   3   4	
		保健指導における面接の実際についてわかる	1   2   3   4		1   2   3   4	
	地域・職域における連携、調整のために情報交換ができる	地域・職域における社会資源の情報交換ができる	1   2   3   4		1   2   3   4	
		地域・職域における社会資源の有効活用ができる	1   2   3   4		1   2   3   4	

## 2 保健指導支援計画の立案について

① 個人特性を踏まえた効果的・効率的な保健指導個別支援計画の立案に対する関心度について該当箇所に○をつけてください。



② 個人特性を踏まえた効果的・効率的な保健指導個別支援計画の立案に対する意欲について該当箇所に○をつけてください。



③ 個人特性を踏まえた効果的・効率的な保健指導個別支援計画を立案できる自信度について該当箇所に○をつけてください。



## 3 行動変容について

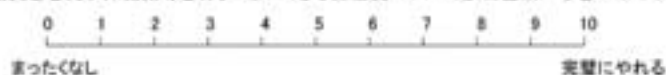
① 行動変容を促す保健指導を行うことに対する関心度について該当箇所に○をつけてください。



② 行動変容を促す保健指導を行うことに対する意欲について該当箇所に○をつけてください。



③ 行動変容を促す保健指導を行うことができる自信度について該当箇所に○をつけてください。



## 4 情報交換について

① 地域・職種における連携・調整のための情報交換に対する関心度について該当箇所に○をつけてください。



② 地域・職種における連携・調整のための情報交換に対する意欲について該当箇所に○をつけてください。



③ 地域・職種における連携・調整のための情報交換の自信度について該当箇所に○をつけてください。



5 スキルアップ研修会に参加しての満足感について該当箇所に○をつけてください。



6 本研修はあなたの目標達成にむけてどのような点が効果的でしたか。

[ ]

7 あなたの目標達成のために困難な点は何ですか。

[ ]

8 研修について、御意見を自由に御記入ください。

[ ]

お疲れ様でした。